

北海道議会時報

第30巻第9・10号



北海道議会事務局

(表紙写真説明)

「サロマ湖浅海漁場開発事業」

— 第2湖口の水路開削工事 —

北海道のオホーツク沿岸には、網走から紋別にかけて、大小7つの湖沼が点在しています。サロマ湖は、これらの湖沼群の一つで、周囲92Km、面積149 km²の広大なかん水湖で、琵琶湖、霞ヶ浦に次ぐ大きな湖です。

サロマ湖では、ホタテガイ養殖を中心にした湖内漁業が盛んに行なわれており、近年では20億円を超える生産をあげています。しかし、広さの割合いには湖口が狭いため、湖水の循環が悪く、特に湖東部は、湖口附近の水域に比べ生産力が極めて低くなっていました。そこで、湖東部に新しい湖口（第2湖口といいます。）を設け、湖内の滞留水塊に外海水を交流させ、ホタテガイなどの生息に条件のよい漁場環境を作り、湖内漁業生産の一層の発展をはかろうと昭和48年から新湖口開削工事に着手し、このほど写真のような第2湖口が開削され、12月上旬に「通水式」が行なわれます。

200海里時代をむかえ、栽培漁業を主軸とする沿岸漁業の果す役割は、今後大きくなっていくものと予想されていますが、この種沿岸漁場の整備開発事業の積極的な推進が期待されています。

(写真提供—道水産部漁政課)

委員会 の 動 き

議会運営委員会	1
常任委員会	2
特別委員会	8
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
企業会計決算特別委員会	
有珠山噴火災害対策特別委員会	
資格審査特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	13
10都道府県議会議長会	13
北海道東北6県議会議長会	13

8・9月のメモ

議 会 日 誌



▶ 8 月

- 1 日 総務、水産各委員会
- 4 日 厚生委員会
- 7 日 商工労働、建設、農地開発、文教林務、
石炭対策特別、北方領土対策特別、企
業会計決算特別各委員会
- 11 日 農務委員会
- 24 日 企業会計決算特別委員会

▶ 9 月

- 2 日 農地開発委員会
- 6 日 総務、厚生、商工労働、農務、建設、文
教林務、石炭対策特別各委員会

- 7 日 企業会計決算特別委員会
- 11 日 文教林務委員会
- 12 日 商工労働、水産、決算特別各委員会
- 13 日 企業会計決算特別委員会
- 18 日 議会運営委員会
- 19 日 総務、企業会計決算特別各委員会
- 20 日 企業会計決算特別委員会
- 21 日 決算特別、企業会計決算特別各委員会
- 22 日 決算特別、企業会計決算特別各委員会
- 25 日 有珠山噴火災害対策特別、企業会計決算
特別各委員会
- 26 日 議会運営、各常任、総合開発調査特別、
石炭対策特別、北方領土対策特別、公害
対策特別、資格審査特別各委員会

委員会の動き

議会運営委員会

○9月18日（月） 午後2時16分、議会運営委員会室において開議、午後2時27分散会

委員長 松浦 義信（自民）

- ① 議長から、第2回定例会の議事運営をめぐる問題について、各派会長会議で協議の結果、3定冒頭の本会議において議長が遺憾の意を表明することで事態の解決が図られることとなった旨を述べ、なお、今後とも民主的な議会運営に努力して参るので協力願いたい旨を述べた。
- ② 委員長から、第2回定例会、7月27日の議会運営委員会において、会期延長問題について異例の採決を行ったことは従来経緯に鑑み、遺憾に存じており、今後一層円滑な運営に努力するので協力願いたい旨を述べた。
- ③ 青木延男委員（社会）から、議長・委員長の遺憾の意の表明に関し、昭和41年8月1日の議会運営委員会における議会正常化についての申し合せ事項が確認されているが、いま表明されたことについて是非遵守して議会運営にあたられたい旨を要望。
- ④ 委員長から、青木延男委員の意見に充分配慮して運営していく決意を述べた。
- ⑤ 元道議会議員石村丈夫氏（砂川市選出、第18期）の逝去（8月6日）、同じく元道議会議員坂本与平氏（根室支庁管内選出、第13期～第14期）の逝去（8月18日）について報告。
- ⑥ 第3回定例会の招集期日について、9月27日とすることを了承。会期については、24日間とすることに決定。
- ⑦ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ⑧ 第3回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

▽ 第3回定例会日程

9月27日	本会議（提案説明）
28日～10月2日	休会
10月3日・4日	本会議（代表質問）
5日～7日	同（一般質問）
8日～10日	休会
11日	本会議（一般質問、予算特別委員会設置）
12日～18日	休会
19日・20日	本会議

- ⑨ 代表質問について、順位は自民、社会、公明、道政

とし、発言時間の使用状況について説明。

○9月26日（火） 午後4時24分、議会運営委員会室において開議、午後4時28分散会

委員長 松浦 義信（自民）

- ① 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 議案調査のための休会について、9月28日から10月2日まで5日間とすることに決定。
- ③ 代表質問の通告は9月30日正午まで、一般質問の通告は10月3日正午までとすることを了承。
- ④ 企業会計決算特別委員会の審査終了について報告。
- ⑤ 農務委員会において発議予定の意見案が提出された場合、明日の本会議において議決することををはかり、これを了承。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○8月1日(火) 午後1時49分、第5委員会室において
開議、午後1時51分散会
委員長 藤井 猛(自民)

一 般 議 事

- 委員長から、寒冷地手当の増額に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期は8月3日から5日まで、派遣委員については、委員長に一任することとした。

○9月6日(水) 午後2時42分、第5委員会室において
開議、午後2時44分散会
委員長 藤井 猛(自民)

開議に先立ち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した地方財政状況に関する道内調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、さきに実施した寒冷地手当増額に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

○9月19日(火) 午前11時31分、第5委員会室において
開議、午後1時3分散会
委員長 藤井 猛(自民)

開議に先立ち、委員長から吉田英治副委員長(社会)及び舟山広治理事(社会)から辞意表明がなされていたが、これが撤回された旨報告、吉田英治副委員長(社会)から辞意を取り消す旨の発言があった。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに湯本芳志委員(社会)及び佐々木利昭委員(自民)から要求のあった伊達火力発電所及び定期刊行物の購入に関する資料が提出された旨報告。
- ② 総務部長から、砥石ダム放流事故に係わる措置状況について報告の後
湯本 芳志委員(社会)から、ダムの自動停止装置の改善の有無等について
質疑があり、総務部長から答弁。
- ③ 道警警務部長及び交通部長から、警察職員の交通事故についての報告の後
湯本 芳志委員(社会)から、現場検証の内容とブレーキ痕の状況等について
質疑があり、道警交通部長から答弁。

- ④ 舟山 広治委員(社会)から、予算執行に関し、予算執行の状況、執行にあたって緊急を要するものの判断、松前病院の工事遅延の理由及び住民要望に対する行政の受けとめ姿勢等について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

- ⑤ 湯本 芳志委員(社会)から、陸運行政に関し、札幌陸運事務所第2車検場の廃止意向の有無、地元零細業者のコスト高による経営困難についての考え方、出張車検と民間車検指定工場に対する考え方、第2車検場復活等について
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○9月26日(火) 午後2時31分、第5委員会室において
開議、午後2時46分散会
委員長 藤井 猛(自民)

一 般 議 事

- 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び道警総務部長から第3回定例会提出予定案件について説明。

厚 生 委 員 会

○8月4日(金) 午前11時10分、第9委員会室において
開議、午後1時35分散会
委員長 村上 彝明(自民)

一 般 議 事

- ① 民生部長から、サハリン州地区墓参の実施について説明。
- ② 民生部長及び衛生部長から、昭和54年度北海道開発予算重点事項について説明。
- ③ 衛生部長から、噴火湾養殖ホタテ貝問題の経過について報告の後
高江 良男委員(社会)から、根本的原因究明の必要性について
中田 繁夫委員(社会)から、水産行政と衛生行政との一貫性をもって資源及び生産品の無駄をなくする努力方について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。
- ④ 高江 良男委員(社会)から、道立松前病院の移管問題に関し、医師手当の町負担の実態と解決策の推進方、市町村立病院の位置づけと道立病院のあり方及び医療新聞の報道に対する見解について
中田 繁夫委員(社会)から、道立松前病院の移管問題に関連して、町費負担について道と町の協定の有無について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

○9月6日(水) 午前11時40分、第9委員会室において

開議、午後零時40分散会

委員長 村上 馨明（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う民生、衛生両部幹部職員
員の紹介があった。

一 般 議 事

- ① 民生部長から、東部シベリヤ地区墓参の実施並びに
サハリン州地域墓参の実施状況について報告。
- ② 民生部長から、大沼大規模年金保養基地第1次整備
計画について説明。
- ③ 衛生部長から、フィリピン観光ツアー参加者の中
から発生したコレラ患者及び韓国旅行ツアー参加者の中
から発生した赤痢患者にかかるその経過並びに噴火湾
の毒性ホタテ貝にかかるその後の状況について報告の
後、

高江 良男委員（社会）から、コレラ患者発生に関
して、予防接種を受けないで出国しているが、国及び
道の対応について、

質疑があり、衛生部長から答弁。

- ④ 民生部長から、北海道総合医療協議会から提出のあ
った母子家庭医療問題を中心とする「医療と福祉にか
かわる意見書」について説明の後、

高江 良男委員（社会）から、第3回定例会で予算
化し、54年1月から実施と聞いているが実情等につい
て

中田 繁夫委員（社会）から、この件は知事公約の
問題であり、知事の考え方を示したうえで市町村及び
医療機関等の意向を聞く考え等について、

柳谷 正一委員（公明）から、この制度の対象人員
等について、

質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

- ⑤ 衛生部長から、北海道総合医療協議会から提出のあ
った乳幼児医療問題を中心とする「母子保健に関する
意見書」について説明。
- ⑥ 高江 良男委員（社会）から、道立松前病院の整備
工事の遅れの理由等について、
質疑があり、衛生部長から答弁。

○9月26日（火） 午前11時31分、第9委員会室において
開議、午前11時49分散会

委員長 村上 馨明（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における厚生事情
調査の概要について報告書により報告、異議なくこれ
を了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会提出予定
案件について説明。
- ③ 民生部長から、東部シベリヤ地区墓参の実施経過を
報告。

- ④ 衛生部長及び民生部長から、「ひまわり学園」にお
ける赤痢の集団発生の概況と対策について報告。

商 工 労 働 委 員 会

○8月7日（月） 午前11時37分、第8委員会室において
開議、午前11時45分散会、委員長事故
のため副委員長 寺崎 政朝（自民）

開議に先だち商工観光部長及び労働部長から、人事異
動に伴う幹部職員の紹介があった。

一 般 議 事

- 副委員長から、委員長の辞任問題については、なお
解決に時間を要する旨の発言の後、

池島 信吉委員（社会）から、辞任問題の早期解決
について努力されるよう要請。

○9月6日（火） 午後1時29分、第8委員会室において
開議、午後1時31分散会、委員長事故
のため副委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- 副委員長から、委員長辞任問題について、なお、さ
らに若干の時間を要する旨の発言があり、これを了承。

○9月12日（火） 午後1時55分、第8委員会室において
開議、午後2時56分散会
委員長 影山 豊（社会）

開 議 前

- 委員長から、第2回定例会の議事運営をめぐり、議
会が紛糾したが、話し合いにより解決したので、今後
とも委員会運営に努力する旨の発言があった。

次いで、新任の商工観光部長から挨拶があった。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した造船等不況対策に関す
る中央折衝の概要について、去る7月29日報告書が提
出されているので、本報告書のとおり報告、異議なく
これを了承。
- ② 委員長から、道内における造船不況状況等調査の実
施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時
期、派遣委員等については、委員長に一任することと
した。
- ③ 商工観光部長から、当面の造船不況対策について報
告の後、
浅川 正敏委員（自民）から、特定不況地域に関し、
水産基地を組入れる考え方等について
質疑があり、商工観光部長から答弁。
- ④ 商工観光部長から、円高為替差益による電力料金に

ついて報告の後、

池島 信吉委員（社会）から、円高為替差益の還元問題に関し、北電の直接・間接差益の額の公表、差益還元に対する考え方等について（関連して、浅川 正敏委員（自民）から、国の政策による差益と石炭政策による経営の悪化について両者を分けた国への要請について）

質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ⑤ 労働部長から、最近の雇用失業情勢について報告、異議なくこれを了承。

○9月26日（火） 午前11時40分、第8委員会室において
開議、午前11時57分散会

委員長 影山 豊（社会）

開議に先だち、岩田前商工観光部長から退任の挨拶があった。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した商工労働事情に関する道内調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 商工観光部長及び労働部長並びに企業局長から、第3回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

農務委員会

○8月11日（金） 午後2時26分、第7委員会室において
開議、午後2時28分散会

委員長 大平 秀雄（自民）

開議前

人事異動に伴う農務部幹部職員の紹介

一般議事

- 委員長から、前委員会において一任された人事案件について未だ解決していない旨発言。

○9月6日（水） 午後2時20分、第7委員会室において
開議、午後3時53分散会

委員長 大平 秀雄（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内農業事情調査に関し報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、生産者米価及び54年度農業関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。

- ③ 農務部長から、農作物の生育状況と農作業の進捗状況、昭和54年度農業関係国費予算要求の主要事項、有珠山噴火による農業災害状況、水田利用再編推進特別交付金、昭和53年度道営競馬の開催回数について説明。

- ④ 委員長から、道内農業事情調査の実施については、異議なく実施することに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

- ⑤ 保格 博夫委員（社会）から、有珠山噴火災害及び十勝地方降ひょう被害に関し、資金対策と小規模災害融資制度の改正について

質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

- ⑥ 工藤 啓二委員（公明）から、飼料用水稲作付農家に対する奨励金支払方法の改善等について
質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

○9月26日（火） 午後零時45分、第7委員会室において
開議、午後1時20分散会

委員長 大平 秀雄（自民）

開議に先だち、委員長から、副委員長の辞任の問題については解決した旨を報告。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和53年産予約限度超過米に関する中央折衝の経過について報告書が提出されている旨報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、道内農業事情調査に関し報告書が提出されている旨報告があり、異議なくこれを了承。
- ③ 農務部長から、農作物生育状況等について説明。
- ④ 農務部長から、昭和53年産予約限度超過米に関し説明の後、

保格 博夫委員（社会）から、本年産米の保管と道内における古米の実態、米の消費拡大と学校給食による消費実績等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ⑤ 農務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

- ⑥ 委員長から、昭和53年産畑作物価格等に関する要望意見案の発議については、異議なくそのことに決定。

- ⑦ 委員長から、昭和53年産畑作物価格等に関する中央折衝の実施、有珠山噴火災害対策に係る農業事情調査及び道外農業事情調査の実施については、異議なくいずれも実施することに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

外国農畜産物輸入拡大阻止及び畑作農産物価格引上げ等について

北海道農業連盟副委員長

建設委員会

○8月7日(月) 午後1時27分、第4委員会室において
開議、午後1時32分散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

開議に先だち、土木部長及び住宅都市部長から、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した日高及び十勝支庁管内の建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、昭和54年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 青木延男委員(社会)から、前回の委員会で要求した資料について再提出を要求。

○9月6日(水) 午後1時55分、第4委員会室において
開議、午後5時8分散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和54年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、さきの委員会において、青木延男委員から要求のあった資料(昭和50年度請負業者上位受注状況、共同企業体上位受注状況、一億円以上の工事内訳調)について配付のとおり提出があった旨報告。
- ③ 青木 延男委員(社会)から、(1)建築工事及び一般土木工事に関し、共同企業体の実態把握、ペーパージョイントに対する考え方、道外業者の指名に対する条件の有無、道外業者が単独受注している理由、構成員の比率配分、指名業者選定のあり方、格付別受注業者の実態、道外業者及び地元中小業者への配分、公共工事の下請け実態調査と前払金に対する適切な指導、(2)道営住宅建設のあり方に関し、市町村からの建設要望戸数が減少している理由、今後の住宅政策の基本的な考え、家賃値上げによる不払いの状況とその後の措置、話し合いがつかない場合の取り組み方、(3)公団賃貸住宅の家賃改訂の内容、不払い運動の状況及び空家の解消策、建設省に対する借家賃体系整備等の要請、(4)地域暖房問題に関し、札幌地区の住宅団地における熱供給公社の統合、再編成についての考え方、北広島団地日本熱エネルギー株式会社の現状と新会社設立の見通し、今後の熱料金値上げに対する受給者側への対応策、(5)忠別橋拡幅に伴う両神橋の拡幅についての考え方、(6)普通河川の維持管理に対する見解、(7)土現等で地元

の会社にはめ込まないで異動させよう天下りさせている道職員の民間会社への就職等について

笠島 保委員(社会)から、公営住宅の高層化と用地取得費の家賃への影響及び補助金制度の復活等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長及び土木部長からそれぞれ答弁。

○9月26日(木) 午後12時8分、第4委員会室において
開議、午後12時46分散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ② 笠島 保委員(社会)から、光星地区における公営住宅の駐車場計画、保育所跡地の利用、自転車置場の転用等について
松本 響委員(自民)から、集合住宅の水道料金メーター制について
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

本日聴取した陳情

光星地区における駐車場並びに水道料徴収について
道営光星団地自治会長

農地開発委員会

○8月7日(月) 午後2時18分、第2委員会室において
開議、午後3時53分散会

委員長 小野 秀夫(道政)

開議に先だち、人事異動にともなう幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 農地開発部長から、道営工事の第1・四半期における発注実績に関し説明。
- ② 農地開発部長から、有珠山噴火にかかる農地、農業用施設災害復旧事業の実施状況について説明の後、
渋谷 澄夫委員(社会)から、道の2次災害対策方針等について
質疑があり、農地開発部長から答弁。
- ③ 農地開発部長から、前委員会で答弁保留となった「自己開田を規制する法的根拠と新規造田に対する罰則規定」についての説明の後
渋谷 澄夫委員(社会)から、自己開田抑制と食糧制度の関連について
質疑があり、農地開発部長から答弁。
- ④ 渋谷 澄夫委員(社会)から、農業基盤整備事業の

推進に関し、農業基盤整備事業が景気浮揚等に及ぼす波及効果について、工事発注時における季節労働者雇用に対する指導及び追跡調査について、下請実態調査結果及び工事発注状況について、農林地一体開発事業の促進等について

小堀 秀次委員（社会）から、工事設計の委託状況及び公正な入札に対する指導について、暗渠用土管の取引の実態と公正取引法の関連等について

熊谷 克治委員（社会）から、季節労働者の雇用及び道産資材の使用に対する指導及びその実態把握について、事業量増加に伴う執行体制の整備状況等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

○9月2日（土） 午後1時9分、第2委員会室において
開議、午後2時30分散会

委員長 小野 秀夫（道政）

開議にさきだち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した昭和54年度農業基盤整備関係国費予算に係る中央折衝経過の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 農地開発部長から、昭和54年度北海道開発予算概算要望についての説明の後

渋谷 澄夫委員（社会）から、昭和54年度国費予算が要求額通り査定された場合残事業量の逐行見込み、水田地帯における畑総事業のとり組み方、農道舗装の内容等について

熊谷 克治委員（社会）から、道営草地整備事業予算が道開発局要求額より農林省要求額が上廻った理由等について

工藤 万砂美委員（自民）から、農業用河川工作物緊急対策事業の上限事業費等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

③ 農地開発部長から、前回の委員会における答弁保留事項（北海道暗渠排水土管協同組合連合会の暗渠排水用土管の販売行為の実態）について説明の後

小堀 秀次委員（社会）から、「北海道暗渠排水土管協同組合連合会」が設定した暗渠排水用土管価格で一元集荷多元販売していることは是非及び独禁法上の問題等について、事業量増に伴う執行体制整備方針について

熊谷 克治委員（社会）から、土管単価39円は設計価格か取引価格か、設計を外注する場合の基準等について

質疑があり、農地開発部長から答弁。

④ 農地開発部長から、前回の委員会における答弁保留

事項（事業推進に当たっての執行体制）について、説明の後

熊谷 克治委員（社会）から、事業量の増加に伴う迅速な職員の対応方について

質疑があり、農地開発部長から答弁。

○9月26日（火） 午前11時22分、第2委員会室において
開議、午後零時2分散会

委員長 小野 秀夫（道政）

開議にさきだち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一 般 議 事

① 農地開発部長から、昭和53年度第3回定例会提案予定案件について説明。

② 農地開発部長から、前回の委員会における答弁保留事項（北海道暗渠排水土管協同組合連合会の暗渠排水用土管の販売方法等について）について説明の後

小堀 秀次委員（社会）から、値引の実態、土管の破損率を勘案した指導価格及び被覆物としての藁の積算方法について

質疑及び要望があり、農地開発部長から答弁。

③ 農地開発部長から、前回の委員会における答弁保留事項（調査、測量、設計の委託と執行体制との関連）について説明。

水 産 委 員 会

○8月1日（火） 午前11時45分、第6委員会室において
開議、午後零時2分散会

委員長 吉田 政一（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、副議長の辞任問題について各派代表者による協議の経過を報告の後、

奥野 一雄委員（社会）、武部 勤委員（自民）、滝沢 勉委員（自民）から意思の表明があり、

委員長から、本件については、なお、慎重に取り扱う必要がある旨発言。

② 昭和54年度北海道開発予算及びホタテ貝の毒性問題に関する水産部長からの説明については、協議会を開催し説明を聴取することをのべ散会した。

○9月12日（火） 午後2時10分、第6委員会室において
開議、午後5時26分散会

委員長 吉田 政一（自民）

開議に先だち、委員長から副委員長、理事の辞任の問題については、解決した旨報告。次いで水産部長から

機構改革と幹部職員の異動について報告。

一 般 議 事

- ① 水産部長から、噴火湾産はたて貝の毒性調査の状況について説明の後

砂原 清治委員（社会）から、毒性プランクトンの発生原因と密殖との関連、許容量調査終了時期等について

奥野 一雄委員（社会）から、養殖技術の再検討の必要性、過密養殖の原因と思われる生産費及び経営問題に対する指導、道の融資移動相談による融資状況等について

中崎 昭一委員（自民）から、今後の出荷見通し等について

川崎 守委員（共産）から、加工業者に対する経営資金の融資状況、道の融資斡旋に対する事後調査の有無、道が直接融資を行なう考え等について
質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

- ② 水産部長から、減トン工事をを行った小型さけ・ます漁船の沈没事故について報告の後

奥野 一雄委員（社会）から、事故に対する責任の所在、検査体制及び減トンの指導と安全性の確保策等について

川崎 守委員（共産）から、小型さけ・ますに対し裏作としてのさんま漁を許可する考え及び許可する場合の減トン指示の有無、減トン工事をを行う理由、安全性を最重点とした減トン指導等について

岩崎 守男委員（社会）から、道の安全性確保と経済的な適正船型に対する考え、増トンを行ってきた経緯、事故に対する責任と反省、事故船3隻に対する道の措置、漁船乗組員に対する行政施策、人命尊重を考えた漁船改善の考え、来年の許可、船型等基本方針等について

松浦 義信委員（自民）から、本道の漁業に適した船型の検討方、浮力材をトン数に換算することの適否、船舶安全法の改正による本邦の20カイリ以内の基点に対する見解について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

- ③ 委員長から、釧路、根室地域にける減トン状況調査の実施については異議なくそのことに決定、実施時期、派遣委員等は委員長に一任することとした。

○9月26日（火） 午前11時10分、第6委員会室において
開議、午前11時33分散会
委員長 吉田 政一（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した減トン工事に伴う漁船の沈没事故にかかわる水産調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 委員長から、減トン工事に伴う漁船の事故防止について適切な措置方を要望。

- ③ 水産部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

- ④ 委員長から、韓国漁船の本道近海における操業に関する中央折衝の実施については異議なく実施することに決定。派遣委員等については委員長一任することとした。

- ⑤ 中崎 昭一委員（自民）から、噴火湾産はたての出荷停止の解除見通しと解除方法等について
質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

本日聴取した陳情

韓国漁船操業問題について

北海道指導漁業協同組合連合会

北海道外国漁船対策特別委員会

代表 北海道外国漁船対策特別委員長

文 教 林 務 委 員 会

○8月7日（月） 午後2時30分、第10委員会室において
開議、午後2時32分散会、委員長事故のため、副委員長 野村 権作（自民）

一 般 議 事

- 副委員長から、原委員長の辞任に対し、慰留するよう折衝を重ねているが、いまだ解決に至っていない、いまだし時間を頂きたい、また、各会派代表者会議における早期解決についての意見にそうよう取り運びたい旨の報告があり、異議なくこれを了承。次に、中央折衝の実施については委員長に一任することとした。

○9月6日（水） 午後2時15分、第10委員会室において
開議、午後2時18分散会、委員長事故のため、副委員長 野村 権作（自民）

一 般 議 事

- 副委員長から、委員長辞任問題について、委員長慰留の要請を続けて来たがいまだ同意を得るに至らず今後とも慰留の要請を続けるため、今少し時間を借りたい旨の報告があり、本日の議事はこの程度と定めることをはかり、異議なくこれを了承。

○9月11日（月） 午後3時15分、第10委員会室において
開議、午後4時35分散会
委員長 原 清重（社会）

開 議 前

- 委員長から、委員長辞任問題について解決したので、今後は全力で委員会運営にあたる旨の発言があった。

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和54年度の国の文教施策に関する要望及び北海道林業・林産業の振興に関する要望について、中央折衝の実施経過について、文書により報告、異議なくれを了承。
- ② 教育長から、公立高等学校の入学選抜改善試案の「意見を聞く会」の意見の中間まとめについて報告の後、藤井 虎雄委員（社会）から、実施時期の目途及び今後の作業日程について
本間 喜代人委員（共産）から、集約整理のあり方、今回の集約の結果による54年度実施延期理由の有無、最終取りまとめの公表方法等について、（関連して、星野 健三委員（社会）から、今回の中間まとめの外部発表を取り止める考えについて）
質疑及び意見があり、教育長から答弁。
- ③ 伊藤 豪委員（道政）から、最近のシンナー、有機溶剤による事故の発生状況、相談所及び指導体制のあり方等について
質疑があり、教育長から答弁。
- ④ 本間 喜代人委員（共産）から、教職員の人事異動要綱に関し、原案修正に対する見解、共稼ぎ教職員等に対し通勤範囲等を配慮する必要性、実施方針の中に「教職員の希望と納得を尊重する」との文言を入れ人事を保障する考え、道立学校と市町村立学校との同じ要綱決定の見通し及び決定時期等について
質疑があり、教育長から答弁。

○9月26日（火） 午後1時12分、第10委員会室において
開議、午後1時23分散会、委員長事故のため、割委員長 野村 権作（自民）

請願、陳情の審査

請 願 第184号 北海道砂川南高等学校校舎改築に関する件 （採 択）

請 願 第200号 北海道札幌東高等学校校舎改築に関する件 （採 択）

一 般 議 事

- 教育長、林務部長及び学事課長から、第3回定例会の提出予定案件について説明。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○9月26日（火） 午後3時10分、第1委員会室において
開議、午後3時15分散会
委員長 三上 勇（自民）

開議に先だち、

- ① 委員長から、第2回定例会の議事運営をめぐる紛糾により、当委員会副委員長辞任問題があったが事態が解決した旨報告があった。

- ② 開発調整部長から、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

議 事

- 開発調整部長から、第3回定例会提出予定案件及び昭和54年度北海道開発関係予算について説明。

石炭対策特別委員会

○8月7日（月） 午後3時53分、第8委員会室において
開議、午後4時20分散会
委員長 工藤 万砂美（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

- ① 委員長から、副委員長及び社会党理事の辞任の取り扱いについて、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことを了承。

- ② 岩崎 守男委員（社会）から、人事問題の取り扱いについて

小笠原 孝委員（社会）から、各派代表の協議結果について意見の交換があった。

- ③ 商工観光部長及び労働部長から、昭和54年度北海道開発関係予算について、それぞれ説明。

- ④ 委員長から、道内産炭地地域事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任した。

○9月26日（火） 午後3時15分、第8委員会室において
開議、午後4時40分散会
委員長 工藤 万砂美（自民）

開議に先だち、新任の商工観光部長から挨拶があった。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した北海道石炭対策連絡会議等に関する中央折衝の概要並びに道内産炭地地域事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれ

を了承。

- ② 商工観光部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 一野坪 勉委員（社会）から、北炭の四社分離独立に対する分離の評価と基本的な考え方、真谷地炭鉱の中小炭鉱適用の取扱い、道の中小炭鉱に対する助成制度の内容、貯炭問題に関し貯炭の融資対策、新鉱開発促進方等について、

山家 勇委員（社会）から、自鉱区内の探査ボーリングの助成についての道の考え方、産炭地域における廃屋撤去問題、石炭鉱業の振興対策等について、

小笠原 孝委員（自民）から、需要拡大のための石炭の利用について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ④ 山家 勇委員（社会）から、露頭炭採掘に関し現行の貸付面積を一工区10haとしている理由、林地開発行為に対する許可手続の簡素化、跡地の活用方法、雇用促進奨励金の市町村負担等について
- 質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。
- ⑤ 委員長から、貯炭場確保に対する特段の対策について商工観光部長に要望。

北方領土対策特別委員会

○8月7日（月） 午後2時42分、第5委員会室において
開議、午後2時45分散会
委員長 若狭 靖（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

- ① 委員長から、舟山副委員長から副委員長の辞任届が出されており慰留に努めてきたが、今後もこの方向で努力するので委員長に一任願いたい旨を述べ、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、8月20日根室市で開催の北方領土返還要求大会及び9月8日名古屋市で開催の北方領土返還要求のつどいへの委員派遣についてはかり、異議なくそのことに決定。

○9月26日（火） 午後3時10分、第5委員会室において
開議、午後3時20分散会
委員長 若狭 靖（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した北方領土早期復帰促進に関する他県への再議決要請並びに「北方領土返還要求のつどい」及び「北方領土展」出席のためそれぞれ委員を派遣した概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 領対本部長から、「全国国民参加による北方領土返還要求大会」の開催結果、「北方領土返還要求強調月間」の実施結果、「北方領土返還要求のつどい」及び「北方領土展」の開催並びに「北方領土返還要求北海道キャラバン隊」派遣結果、「北方領土返還要求東北・北海道・青森県大会」開催結果の報告
- ③ 領対本部長から、「北方領土返還要求国民大会」の開催について説明。
- ④ 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 委員長から、「北方領土返還要求国民大会」の委員派遣について、正・副委員長が出席することにした旨を述べ、異議なくそのことに決定。

公害対策特別委員会

○9月26日（火） 午後3時25分、第2委員会室において
開議、午後3時35分散会
委員長 田 莉子 政太郎（自民）

- ① 生活環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、北海道環境影響評価条例制定後の経緯について説明の後、
- 湯本 芳志委員（社会）から、環境影響評価審議会委員の構成について
- 質疑があり、生活環境部長から答弁。

企業会計決算特別委員会

○7月18日（火） 午後6時9分、第2委員会室において
開議、午後6時20分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

正副委員長の互選

- ① 小堀 秀次臨時委員長（社会）から、委員長互選の方法についてはかり、佐藤 静雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、中田 繁夫委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岩崎 守男委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、石山 直行委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議の結果、本委員会の運営については、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議によって行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。理

事には、自民から佐々木利昭委員及び佐藤静雄委員、社会から、一野坪勉委員及び岩崎守男委員、道政から伊藤豪委員、公明から工藤啓二委員をそれぞれ選出。

- ④ 委員会の申合せ事項（1 質疑の方法は、通告の形式により、一括してこれを行なうこと。ただし、一問一答の形式により行なう場合は、その旨を委員長に申し出ること。2 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。3 委員の交代は、原則として認めないこと。4 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行なうこと。）については、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 委員外議員の発言について、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後にこれを許可すること、なお、資料の要求は認めないことに決定。

○7月28日（金） 午後9時30分、第2委員会室において開議、午後9時32分散会、委員長事故のため、副委員長 石山 直行（自民）

- ① 報告第19号ないし第25号について、閉開中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 7月29日から8月5日までは委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。
- ③ 書面審査室を第3委員会室に設置することを了承。

○8月7日（月） 午前11時51分、第1委員会室において開議、午後零時4分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 委員長から、委員長を辞任したい旨発言があって退席、副委員長石山直行（自民）が委員長席に着き、委員会を続行し、議事進行の都合により午後零時2分休憩、午後零時3分再開。
- ② 今後の審査日程について8月8日から8月12日まで及び8月17日から8月23日まで委員会を開かず書面審査を行うことに決定。

○8月24日（木） 午後1時42分、第2委員会室において開議、午後1時43分散会、委員長事故のため、副委員長 石山 直行（自民）

- ① 副委員長から、委員長の辞任問題について報告。
- ② 今後の審査日程について、8月25日から9月6日まで委員会を開かず書面審査を行うことに決定。

○9月7日（木） 午後1時27分、第2委員会室において開議、午後1時28分散会、委員長事故のため、副委員長 石山 直行（自民）

- ① 決算審査のため必要な資料については、異議なく配付の項目により要求することに決定。
- ② 9月8日から9月12日まで委員会を開かず書面審査

を行うことに決定。

- ③ 副委員長から、企業会計決算にかかわる現地調査を実施することについては、異議なくそのことに決定。

○9月13日（水） 午後1時31分、第2委員会室において開議、午後1時38分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 委員長から、9月7日の委員会で決定した要求資料が提出されている旨報告。
- ② 委員長から、さきに実施した企業会計決算にかかわる現地調査の実施の結果について報告書が提出されていた旨の報告があって、異議なくこれを了承。
- ③ 審査日程について、別紙配付の日程（別紙省略）のとおりとすることに決定。
- ④ 報告第19号ないし第25号を議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び企業局長から各会計決算に関し説明を聴取。

○9月19日（火） 午前10時58分、第2委員会室において開議、午後3時6分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 委員長から、議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 報告第19号（昭和52年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、(1)道立病院の経営に関し、赤字の原因と受けとめ方、公立病院と民間病院の経営状況の差異と理由、道立病院の累積赤字の処理対策、特例債についての要請、他府県の累積赤字の処理内容、北野病院の未使用病床の生じている理由と解消策、結核病床の一般病床への転用に対する見解、医師の充足計画、札幌医大に対する医師の派遣要請、医大の研究生に対する地域医療についての協力要請方、(2)道立病院の救急医療体制に関し、体制整備についての考え方と今後の見通し等について質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時36分休憩、午後2時再開。引き続き、

工藤 啓二委員（公明）から、(1)道立病院の運営に関し、道立病院の開設の経過と性格、機能、開設目的を達成した病院の今後の措置、空床の多い病院の今後の運営、羽幌病院の結核病床の取扱い、道立病院の運営について総点検する考え、(2)道立病院の薬品購入に関し、民間病院の購入価格との価格差、薬品の購入方法、薬価基準と購入価格、自治体病院共済会からの購入量、今後の改善方針等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○9月20日（水） 午前10時51分、第2委員会室において
開議、午後2時37分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 報告第20号（昭和52年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、(1)緑化樹生産に関し、赤字の原因、高木の緑化樹の需要見通し、道有林企業会計で行うことの必要性、緑化樹養成センターの機構上の位置づけとP・Rの必要性、(2)道有林の生産形態に関し、パルプ販売の委任方式の改善、木材市況の実態把握と今後の見通し、市場の再建に対する決意、山元販売に係る素材の搬出の実態と改善の考え、(3)銘木樹に関し、道外移出の状況と道産材の高次加工等に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時26分休憩、午後2時6分再開。引き続き、

工藤 啓二委員（公明）から、道有林の基本計画の基本的考え方及び初年度の実施状況、52年度決算赤字の要因、未収金、延納金の内容、53年度の経営収支の見通し、市町村への交付金及び道財政に対する繰出金について再検討方等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

○9月21日（木） 午後11時20分、第2委員会室において
開議、午後零時53分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 報告第21号（昭和52年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、(1)北広島団地開発の当初計画段階からの総括、宅地分譲状況、集合住宅入居状況等処分完了対策及び見通し、交通機関の整備増強施策、団地中心地の商業団地地域・店舗団地地域等業務用地の配置等及び営業見通し、(2)住宅環境整備に関し、公共施設整備に伴う町村財政負担への影響に対する考え方、軽減策、具体的な水道供給の現状と設備投資等財政上の措置、団地協定第2条についての見解と執行、協定の期限、(3)地域暖房に関し、地域暖房計画の結果及び所見、熱供給経営が当初から道の直営であった仮定の見解、新会社の第3セクター役員及び資本構成等道の施策、供給拡大の可能性及び現供給の戸数、地域暖房計画結果の累積赤字の主要原因並びに今後の

政策見通し等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○9月22日（金） 午前11時13分、第2委員会室において
開議、午後2時43分散会
委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 委員長から、本間喜代人議員（共産）の本委員会への出席及び企業局所管に対する発言の申し出について委員の通告質疑終了後にこれを許可することををはかり異議なくそのことに決定。

- ② 報告第22号（昭和52年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第23号（昭和52年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第24号（昭和52年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）、報告第25号（昭和52年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、(1)公営企業局のあり方に関し、公営企業局の道民に対する周知についての考え方、電気事業に係る電力の役割及び使命についての位置づけ、1%の事業量について道民の福祉経済に寄与することの見解及び電気事業の発展についての調査活動等の有無、(2)電気料の単価に関して、道営の発電単価と北電単価との比較及び道営の占める役割の拡大についての見解、(3)有料道路事業に関し、有料道路の運営に対する使命及び開設の意義、観光と道路の果す役割についての考え方、料金徴収に係る時間帯の考え及び有料道路と一般道路との較差及び起債額の今後の見通し、企業局の将来展望に対する決意等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁。議事進行の都合により午後12時13分休憩、午後1時40分再開し、ついで、

本間 喜代人議員（共産）から、(1)苫小牧地区第2工業用水道事業に関し、決算資料における昭和56年度給水計画が51年度の決算資料に比較して著しく減少している理由及び当初計画と実態、収入予定額の半減及び工業用水道事業収支計算書との関連、契約水量及び料金について受給者との話し合いの有無、契約水量の今後の見通し及び工業用水の値上についての考え方、全体的な工業用水道料金の検討、第2工業用水について値上げする要因がないことの理由及び見解、10億円の出資金についての考え方、昭和54年度における10万トンの給水能力及び昭和56年度における給水量計画、(2)苫小牧東部第一期工業用水に関し、昭和51年度からの調査費の額及び昭和54年度のダム建設予定、ダム建設に伴う負担金についての見解、長期展望に対する決意について、

質疑、意見及び要望があり、企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

- ③ 委員長から、報告第19号ないし第25号に対する意見調整を各派代表者会議において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。

○9月25日（月） 午後1時31分、第2委員会室において開議、午後1時33分閉会

委員長 中田 繁夫（社会）

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第19号ないし第25号を一括議題とし、報告第22号ないし第25号は認定議決、報告19号ないし21号は意見を付し（委員長報告参照）認定議決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

有珠山噴火災害対策特別委員会

○9月25日（月） 午後2時5分、第1委員会室において開議、午後5時2分散会

委員長 高橋 辰夫（自民）

- ① 委員長から、さきを実施した有珠山噴火災害調査について報告書が提出されている旨報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、最近の有珠山における火山活動状況、被害状況及び災害対策措置状況について説明の後、川崎 守委員（共産）から、道の有珠山噴火被災者等緊急援護資金と市町村資金の借受けの内容及び金利負担、天災融資法及び道農業災害融資制度の適用見通し、制度資金の償還猶予緩和に対する考え等について質疑及び意見があり、総務部長及び農務部長から答弁。
- ③ 影山 豊委員（社会）から、二次泥流災害の地域指定と緊急防災体制、降雨量の適格な把握、入江川の泥流量と防災施設等についての考え方、道社会事業協会洞爺湖病院の被害状況と復旧計画、水源亟養保安林の指定解除と防災工事実施の有無、有珠山周辺の活動火山対策特別措置法に基づく地域指定等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、土木部長、林務部長、農地開発部長及び衛生部長から答弁。
- ④ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

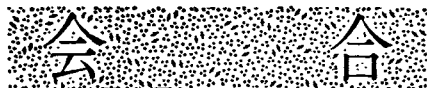
資格審査特別委員会

○9月26日（火） 午後4時、第2委員会室において開議、午後4時6分散会

委員長 三上 勇（自民）

副委員長の互選

- ① 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、宇野 真平委員（自民）の動議により指名推選の方法により、星野 健三委員（社会）を副委員長に選出。
- ② 委員会の今後の運営方法等協議のため午後4時2分休憩、午後4時4分再開、理事に宇野 真平委員（自民）、青木 延男委員（社会）、津川 直一委員（道政）、牧野 唯司委員（公明）をそれぞれ選出。



全国都道府県議会議員会

○9月5日（火） 全議会議室において役員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、全議事務局長から8月25日の地方6団体の自民党地方行政部会に対し「行政改革の推進」、「防災対策の推進」及び「地方財政対策に関する決議」の実施方について要望した旨を報告。次に協議に入り、(1) 昭和53年度本会補正予算説明後、異議なく原案のとおり決定、(2) 第74回定例総会の開催地について、次回役員会で正式決定されるが、あらかじめ開催ブロックについて協議の結果四国ブロックに開催予定と決定、(3) 明年度海外視察計画について、全議事務局長から、明年度の議員海外視察計画案（東西欧州、中南米、各夏期及び秋期の2回）並びに幹部職員による海外視察計画案について説明の後、質疑応答があって原案のとおり決定、(4) 明年度の中国友好訪問の計画案について説明の後、これを諮って明年度は派遣しないことに決定、(5) 議員共済年金掛金額の再計算に関する自治省行政局長通達等について、全議事務局長から経過説明の後これを了承、(6) 本年度秋期海外視察について、全議事務局長から実施計画に当り参加申込金を徴収し不参加の場合はこの申込金を経費の一部に充当する旨の説明の後これを了承。

10都道府県議会議長会（第112回）

○8月29日（火） 北海道札幌市において開催。地元北海道議長及び知事（代理、副知事）のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、新任正副議長の紹介を行なって、協議に入り、まず、神奈川県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議、決定し、関係方面に要望することとした。ついで、全議事務局長（代理、調査第1部長）から、最近における中央情勢などについて説明の後、次回開催地を福岡県に決定して、閉会した。

- 1 市街化区域農地の宅地並み課税について
- 2 養護学校教育の義務制実施に伴う諸施策の推進について
- 3 地震災害対策の充実強化及び救済措置の拡充整備について
- 4 口唇口蓋裂児の治療について
- 5 ネズミ講を禁止する法律の制定について
- 6 水道用水供給事業（広域水道事業）に対する財政措置について

- 7 高等学校の新増設に係る国庫補助の拡充強化について
- 8 中小企業対策の強化について
- 9 北方領土復帰等の促進について
- 10 新幹線整備計画5線の早期着工について

北海道東北6県議会議長会（第55回）

○9月8日（金） 北海道札幌市において開催。地元北海道議長及び知事（代理、副知事）のあいさつの後、議長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、岩手県議長から、前回の議決事項の処理及び結果報告を行なって、これを了承。ついで、次の事項について協議し、第10号を除く12件については、11月の全議定例総会に北海道・東北ブロック共同提出議案とすること、及び第10号並びに岩手県議長から追加要望があった「特定不況地域臨時措置法等の早期制定について」を含む全議決事項の処理方法について決定。ついで、次回開催地を秋田県に決定の後、引き続き全議事務局長から最近の中央情勢などについて説明の後、閉会した。

- 1 北方領土復帰促進について
- 2 手話通訳の国家認定制度の確立について
- 3 公立文教施設整備事業にかかる国庫補助対象基準の特別措置を継続することについて
- 4 総合福祉センターに対する補助制度の創設について
- 5 高等教育機関の地域配置における不均衡の是正並びに既設国立大学の拡充強化について
- 6 工業の地方分散対策の強化について
- 7 労働災害対策の強化について
- 8 地方集合バス対策の改善強化について
- 9 地方中核都市交通施設整備費補助金の創設について
- 10 東北・北海道新幹線鉄道及び青函トンネルの建設促進について
- 11 地震災害対策の拡充強化について
- 12 りんご腐らん病総合防除対策推進事業について
- 13 水田利用再編対策の充実について

8 月 の メ モ

- 1 ○7月下旬、1ドル＝200円を割った円相場は、欧米市場に引き続き東京外為市場でもついに190円を割る。
○7月末の外貨準備高は、日銀による東京外為市場への大規模な介入を反映して前月末に比べ20億3千5百万ドル増加し、293億6千6百万ドルと史上最高となる。
- 2 ○蘭越高校女生徒（16歳）を殺した容疑で、同高校2年の男生徒（16歳）が逮捕され、事件発生から40日目に解決。
- 3 ○東京地裁、「東京スモン訴訟」で、スモンの原因としてキノホルム説を採用してウイルス説を退け、国と製薬3社の法的責任を認める裁断を下し、原告への慰謝料として総額32億円を認めた。
- 4 ○閣議、昭和53年「外交青書」を了承、先進諸国と協力、中ソと安定的関係保つ。
- 5 ○のびのびになっていたソ連200カイリ内での日ソ漁業共同事業と貝殻島周辺でのコンブ漁再開問題は、交渉の中断が決定。
- 6 ○ローマ法王パウロ6世が心臓発作のため急死。
- 9 ○政府派遣の北方4島などの墓参について、ソ連側は
①北方4島、ソ連本土は認められない②サハリンはホルムスクなど3ヶ所は認める一旨、モスクワの日本大使館を通じて明らかにした。
- 11 ○人事院、公務員ベア3.84%と勧告。35年以來の最低。
○閣議、53年度「経済白書」を了承。輸出志向転換を高める成長を提言。
- 12 ○昭和47年9月の国交正常化以来、懸案であった「日中平和友好条約」が、北京で華国鋒主席、鄧小平副首相立ち会いのもと、園田外相と黄華外相との間で調印され、「日中新時代」に入った。
○根室市の小型サケ・マス漁船が、裏作サンマ漁を行うため、宮城県の造船所で減トン工事をして花咲港に回航中、同県金華山沖で突然沈没した。減トン工事に絡んだ海難は初めて。
○防衛庁「奇襲対処」で見解、有事立法とは別概念。
- 16 ○道内の交通事故死は、総数266人となり、全国都道府県別ワースト順位は埼玉を抜いて単独1位になった。
○活発な表面活動を続けていた有珠山は、大規模な水蒸気爆発を起こし、壮瞥町などに雨まじりの多量の火山灰。
- 18 ○日本・ニュージーランド漁業協定はウエリントンのニュージーランド外務省内で、仮調印。これによって同国200カイリ水域から締め出された日本漁船の操業は、9月中にも再開できる見通し。
○農林水産省、53年農業調査発表、農家の減少率鈍る、

長期不況の影響か。

- 20 ○初の「全国民参加による北方領土返還要求大会」が稲村総理府総務長官ら全国から2,700人が参加して根室で開催。
○フィリピンの観光ツアーから帰国した札幌在住の会社々長（45歳）が真性コレラと判明。本道でコレラ患者が発生したのは54年ぶり。
- 22 ○探検家植村直己さん（37歳）が史上初めて単独犬ぞりによるグリーンランド氷床3千キロの縦断に成功。
- 24 ○電気、ガス業界に対する53年度の円高差益還元、54年度の料金据置の政府方針決定。一電力9社緊急社長会は電力業界の基本方針を決め、通産省に報告したが、差益の少ない北海道電力は除外。

9 月 の メ モ

- 1 ○中川農相、閣議で8月15日現在の水稻作況を報告。
全国の作況指数は106で「良」、本道は「113」で
全国で最高。
- 2 ○政府、経済対策閣僚会議で、国際公約7%成長に向
けて、補正予算編成を伴う内需拡大、緊急輸入の促
進など6項目の総合景気対策を決定。
○「北海道110年記念式典」が道開拓記念館で開催。
- 3 ○低気圧の通過で大シケの道東沖でサンマ漁船2隻が
沈没。乗組員7人は救助されたが、4人は遺体で発
見され、残る13人は行方不明。
- 5 ○福田首相、イラン、カタール、アラブ首長国連邦サ
ウジアラビアの4ヶ国訪問へ出発。14日帰国。
○最高裁、戦後4大騒乱事件の1つ、20年7月、名古
屋市で起きた「大須事件」に対し、騒乱罪の成立を
認めた2審の判決を支持、被告側の上告を棄却。事
件発生以来、26年ぶりに80人の有罪が確定。
- 6 ○中国の鄧副主席、日本報道各社論説責任者訪中団に
対し「中ソ友好同盟条約は来年4月に中華社声明の
形で廃案を宣言する」と表明。
- 8 ○道教委、54年度からの公立高校入学選抜方法改善を
見送り、来年は現行どおりと決定。
- 11 ○高薄大成町長、同町議会で、原子力発電所の適地・
環境調査を道・北電に依頼すると表明。
○東京高裁、51年の総選挙で「1票の重さ」に極端な
地域差があるのは違憲として千葉4区などの有権者
が無効を求めている2つの訴訟で民事9部は、「過
疎地域に大きな政治的影響力を持たせなければなら
ない」と合憲の判断、一方、同民事15部は、「較差
が最大3.5対1とした議員定数配分規定は、人口以
外の要素を考慮してもなお、是認できない程度のも
のである」として違憲の判断、しかし選挙取り消し
請求は棄却。(13日)
- 12 ○一般消費税の具体案づくりを進めていた税制調査会
は、特別部会の報告を試案として公表。骨子は、①
課税方式を売上額から仕入れ額を引いた額に一定税
率をかける前段階取引控除方式、②食料品は原則的
に非課税とするなど。
○有珠山は、昨年夏の大噴火以降、最大規模の爆発。
洞爺湖温泉街などに大量の降灰。野菜、豆類などが
大きな被害。
- 16 ○イラン東北部のカービル砂ぼく一帯で、今年世界最
大規模のマグニチュード7.7の大地震、死者2万5
千人に達した。
- 18 ○第85臨時国会開会。
○堂垣内知事3選出馬を表明。昨年9月に出場表明の
五十嵐広三氏と来春知事選で再び対決。
- 19 ○埼玉県行田市の稲荷山古墳から出土の鉄剣から雄略

天皇と見られる名前を含む150文字を発見。

- 20 ○東京地裁、46年7月の全日空機と自衛隊機が衝突、
162人が死亡した「雲石事故」の民事訴訟で「双方
に過失があった」として「6対4の過失割合に従っ
て賠償金を支払え」と判決。
- 21 ○防衛庁、有事法制の研究と奇襲問題に対する統一見
解をまとめる。
- 27 ○第3回定例道議会開会。
- 29 ○8月26日新法王に選出されたばかりのヨハネ・パウ
ロ1世、心臓コウソクで突然死去。
○札幌地裁、「ロボットミー訴訟」で「適応判断は医師
の裁量範囲を逸脱して違法」と断定、「手術承諾に
ついて同意を得ていない」と主治医と執刀医に連帯
して約4,550万円の賠償支払を命じる原告勝訴の判
決。
○四ツ柳北電社長、岩内、共和、泊、神恵内4町村長
に原発立地点を共和町から泊村の温排水放出口予定地
付近に移す立地計画変更を申入れ。新規地点には、
共和・泊原発規模の原発を2基建設する構想を明ら
かにした。